
ひこね ひがしおうみ
国道8号 彦根～東近江
計画段階評価

平成30年7月

目次

1. 地域の意見聴取(第1回)の内容について	・・・ 2
2. 地域の意見聴取(第1回)の結果について	・・・ 5
3. 対応方針(ルート帯案)について	・・・16
4. 地域の意見聴取(第2回)の方法について	・・・23
5. 道路として必要な機能等について	・・・26
6. 今後の計画段階評価のすすめ方(案)	・・・31

1. 地域の意見聴取(第1回)の内容について

1-1. 意見聴取の実施内容

■前回近畿地方小委員会実施日

平成28年12月21日(水)

■意見聴取期間

平成29年3月1日(水)～3月15日(水)

■意見聴取

・アンケートによる意見聴取

対象	調査対象者	調査手法	調査規模
地域住民	彦根市、東近江市、 愛荘町、豊郷町、 甲良町、多賀町	郵送配布・回収	15,981世帯 ※無作為抽出
道路利用者	滋賀県等	Webアンケート (滋賀国道・滋賀県・自治体HP)	—
	沿道地域 ^{※1}	留置きアンケート ^{※2} (滋賀県庁、市町役場、道の駅等に配置)	—
事業者	彦根市、東近江市、 愛荘町、豊郷町、 甲良町、多賀町	郵送配布・回収	1,693 事業所 ※無作為抽出

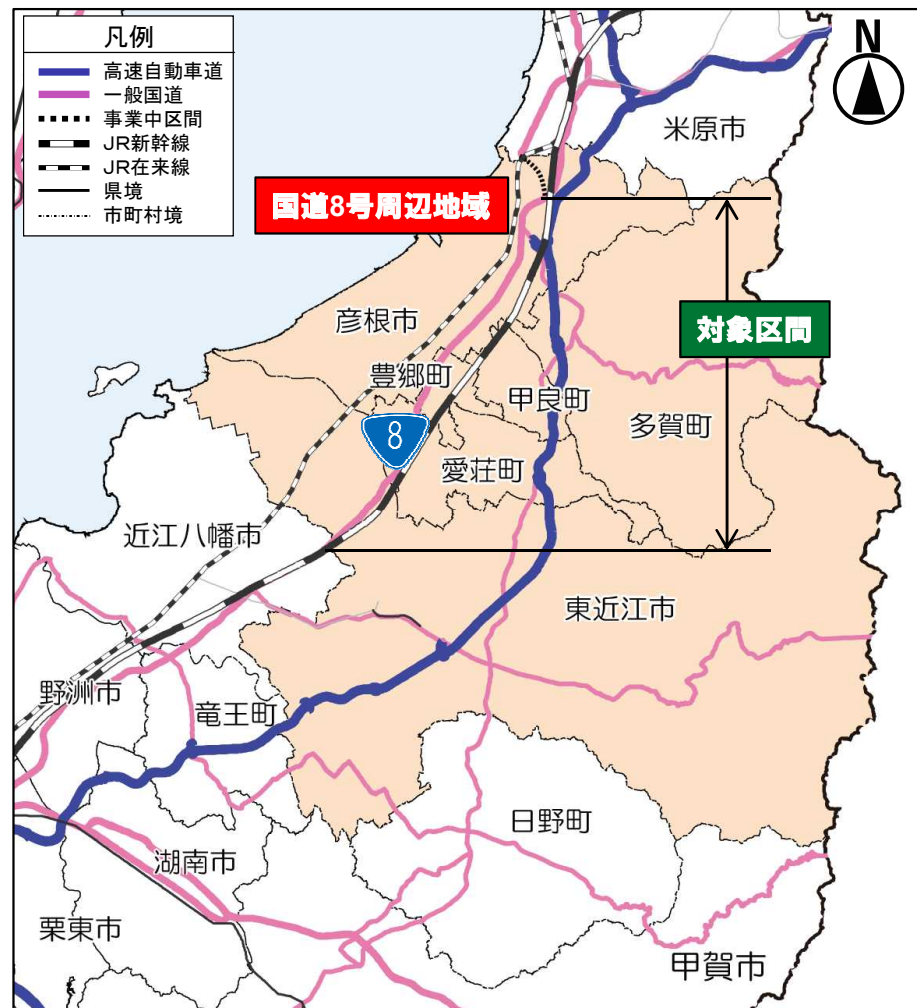
※1沿道地域：米原市、近江八幡市、竜王町

※2道の駅：あいとうマーガレットステーション、奥永源寺溪流の里、せせらぎの里こうら、近江母の郷、伊吹の里、竜王かがみの里、アグリパーク竜王

・ヒアリング調査による意見聴取

項目				
関係団体 (計28団体)	○自治体	【7自治体】	○経済団体	【8団体】
	○観光協会	【6団体】	○トラック協会	【1団体】
	○バス協会	【1団体】	○警察機関	【3団体】
	○消防機関	【2団体】		

・調査票(地域住民、事業者)の配布範囲



1-2. 意見聴取の実施状況

■調査票形式、ヒアリング調査の実施状況

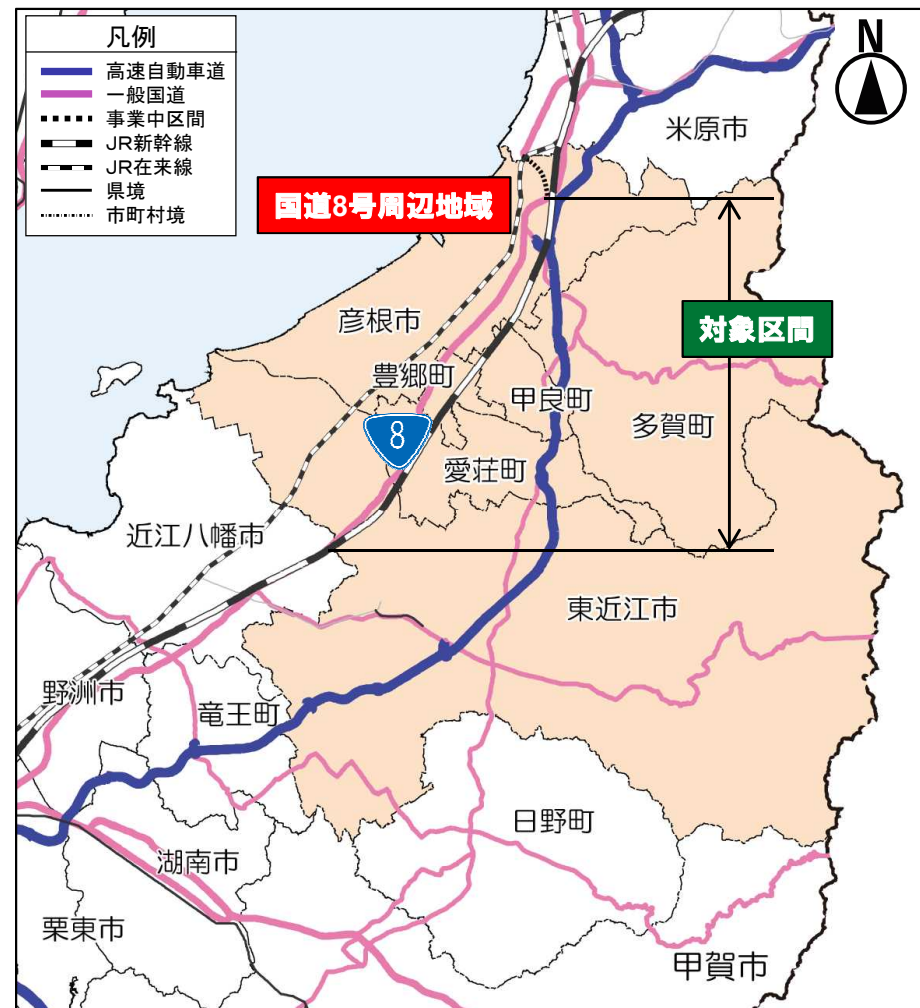
・アンケートによる意見聴取

調査票形式		調査手法			
		配布数	回収数	回収率	参考
地域住民	無作為抽出による 郵送配布・回収	15,981部	5,290部	33%	5,631部
		—	161部	—	
道路利用者	Webアンケート	—	161部	—	
	留置きアンケート	—	180部	—	
事業者	無作為抽出による 郵送配布・回収	1,693部	680部	40%	680部

・ヒアリング調査による意見聴取

ヒアリング調査		実施状況
関係団体	自治体	7自治体
	経済団体	8団体
	観光協会	6団体
	トラック協会	1団体
	バス協会	1団体
	警察機関	3団体
	消防機関	2団体
	計	28団体

・調査票(地域住民、事業者)の郵送配布・回収範囲



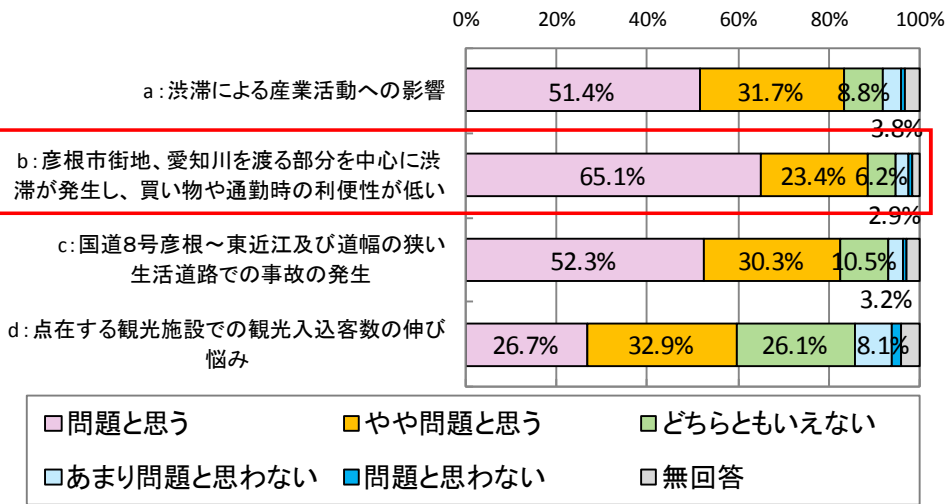
2. 地域の意見聴取(第1回)の結果について

2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(地域の課題)

- 対象地域の課題では、全ての項目で「問題だと思う(問題+やや問題)」の割合が概ね6割を上回る。
- 「b. 彦根市街地、愛知川を渡る部分を中心に渋滞が発生し、買い物や通勤時の利便性が低い」が問題だと思う割合が約9割と最も多く、次いで「a. 渋滞による産業活動への影響」との回答が続く。

地域の課題

【問3】国道8号彦根～東近江周辺地域の課題に関するa～d各項目について、「問題と思う」～「問題と思わない」の5段階で評価し、あてはまる番号1つに○をつけて下さい。【単一回答】



総回答数
5,631人

【問3】地域の課題を選んだ主な理由や、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。【自由回答】

項目	主な意見
産業に関する意見 【68件】	<ul style="list-style-type: none"> ・産業の発展には道路整備が必要。他県と比べて、滋賀県の道路整備は不十分である。 ・地域の交通課題は、特に産業活動に大きく影響している。
渋滞に関する意見 【1,646件】	<ul style="list-style-type: none"> ・彦根IC、外町、高宮町付近は、朝・夕常に渋滞し、JRの駅や病院、彦根市内に行くのに時間がかかる。 ・彦根市街地の商業施設へ買物に行きたいが、国道が渋滞するので敬遠してしまう。
事故に関する意見 【473件】	<ul style="list-style-type: none"> ・国道8号は道幅が狭く、走行速度が下がるため、無理な追い越しを行う車両に危険を感じる。 ・国道8号の渋滞を避けて、中山道など、狭い道路の迂回交通量が増加しており、交通事故などの危険性が増している。
観光に関する意見 【59件】	<ul style="list-style-type: none"> ・観光施設へ行く時など渋滞していたら途中で嫌になり、やめてしまう。そうすると客数がへり、施設も潤わなくなり、地域も活性しなくなる。

※総延べ回答数:3,542件

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

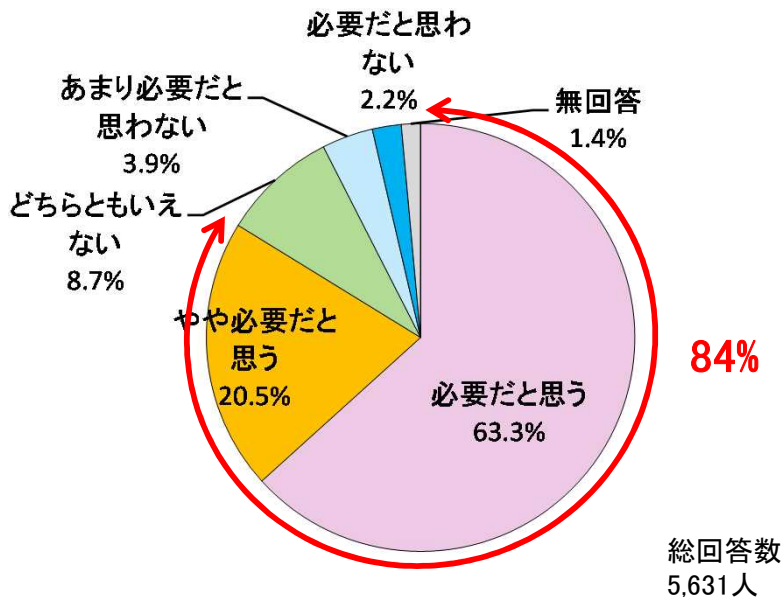
2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(道路整備の必要性)

○道路整備が「必要だと思う(必要+やや必要)」の割合は約8割を占める。

○道路整備の必要性において、「必要」と回答した人は「b. 彦根市街地、愛知川を渡る部分を中心に渋滞が発生し、買い物や通勤時の利便性が低い」について、特に問題を感じている。

道路整備の必要性

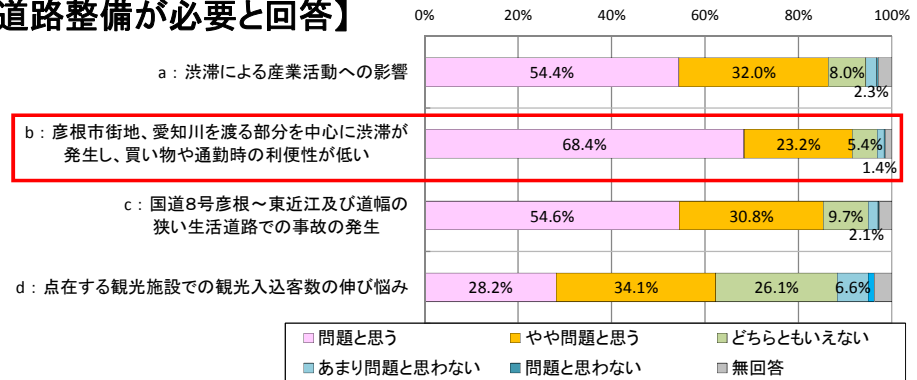
【問4】地域の課題を解決するために、新たな道路整備が必要と
思いますか？【単一回答】



地域の課題

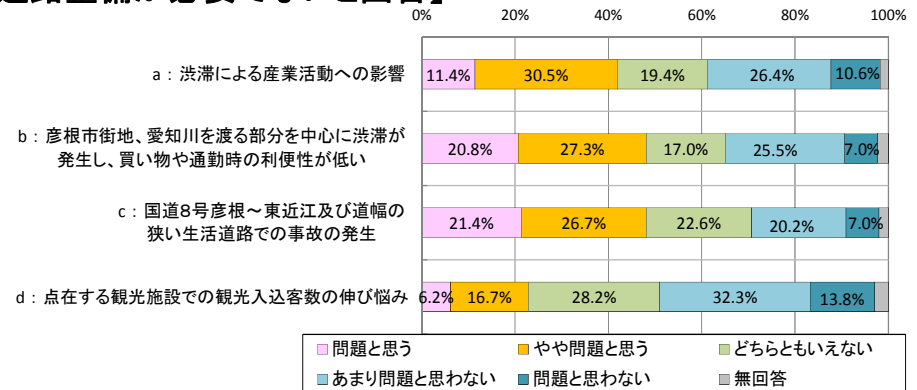
【問3】国道8号彦根～東近江周辺地域の課題に関するa～d各項目について、「問題と思う」～「問題と思わない」の5段階で評価し、あてはまる番号1つに○をつけて下さい。【単一回答】

【道路整備が必要と回答】



※割合は、問4で道路整備が「必要だと思う、やや必要だと思う、どちらともいえない」の回答者に対する集計結果。

【道路整備が必要でないと回答】



※割合は、問4で道路整備が「必要だと思わない、あまり必要だと思わない」の回答者に対する集計結果。

2-1. 意見聴取の結果 住民等への調査票(自由意見)

- 「渋滞」に関する意見・要望が最も多く、次いで「事故」、「産業」、「観光」に関する意見・要望があった。
- その他意見では、「道路整備」や「整備時期」に関する意見・要望が多い。

自由意見

【問5】その他、国道8号彦根～東近江について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。【自由回答】

分類		主な意見
産業に関する意見 【35件】		<ul style="list-style-type: none"> ・道路整備をしなければ産業の発展はない。人口の減少にもつながり、近い将来を心配している。 ・本地域は、大規模事業所が数多くある。高速へのアクセス性を向上させ、産業活動の発展に力を入れてほしい。
渋滞に関する意見 【857件】		<ul style="list-style-type: none"> ・特に西沼波町～外町辺りはとてもよく混雑しており困っている(彦根市内に買物に出掛けた時にいつも感じる)。 ・どの道路を利用しても愛知川を渡るのに苦労しており、何とか対策を講じてほしい。
事故に関する意見 【239件】		<ul style="list-style-type: none"> ・8号沿いに店舗等多く、8号に入る車、出る車が多いため、危ない場面に何度も会っている。 ・国道8号の渋滞をさせて中山道に入る車が多いが、中山道の道幅が狭いため事故が多い。何らかの対策が必要である。
観光に関する意見 【25件】		<ul style="list-style-type: none"> ・道路が整備されることにより他府県の方も訪問しやすくなる。また、新たな観光ルートの設定等、他の町とのつながりも大切にしながらお互いに引き立てあえる計画が立てられる。 ・観光地間の連携等には道路を整備することが必要だと感じる。地域活性化も期待できる。
道路整備に関する意見	新規整備 【787件】	<ul style="list-style-type: none"> ・国道8号線と国道306、307号間に一本道が必要ではないかと思う。 ・米原バイパスの様なバイパスがあれば、物流、観光の移動が緩和され、新たなビジネスチャンスが生まれると期待される。
	既存道路整備 【758件】	<ul style="list-style-type: none"> ・右折レーンの新設等で混雑は解決されると考える。 ・現在の国道の車道も狭く、片側2車線の通路が必要である。
整備時期に関する意見【136件】		<ul style="list-style-type: none"> ・何十年も前から8号線バイパスや拡幅が願われているが、中々進展性がない。早期達成を願う。 ・滋賀県の発展にはかせない道路であり一日も早く改良及びに新設に向けて動いてほしい。
その他【52件】		<ul style="list-style-type: none"> ・人口減に伴い渋滞はなくなる為、新道の増設より、メンテナンスに費用を掛けるべきである。 ・これからも人口減少が加速化する人も車も減るから、道路より高齢化問題にお金を使うべき。

※総延べ回答数:3,264件

2-2. 意見聴取の結果 事業者への調査票(属性・利用目的・利用頻度)

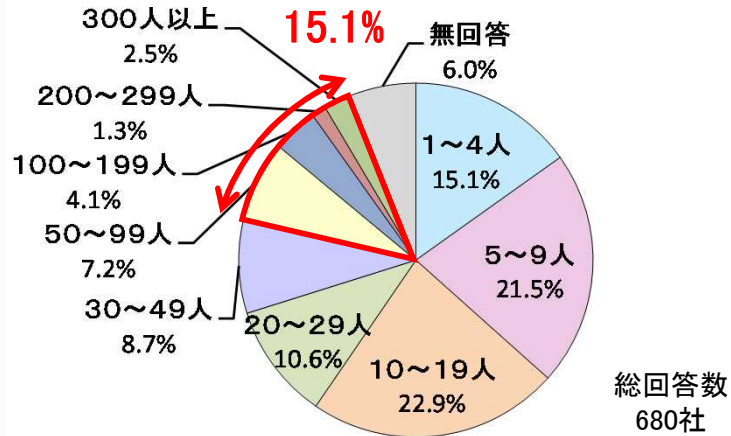
○従業員数が50人以上の大規模な会社が約2割を占め、業種は「製造業」が約3割を占める。

○利用目的では、「営業」が約4割、「運送・運搬」が約3割と合計で約7割を占める。

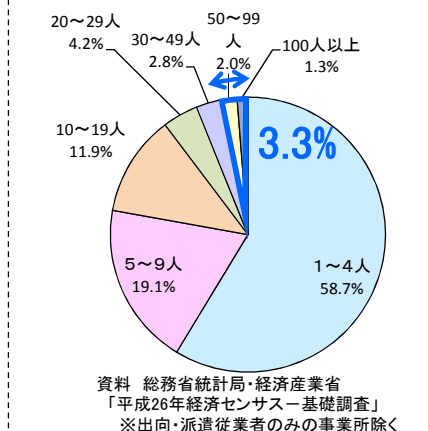
○国道8号の利用頻度では、「ほとんど毎日」が約半数を占める。

事業者の属性

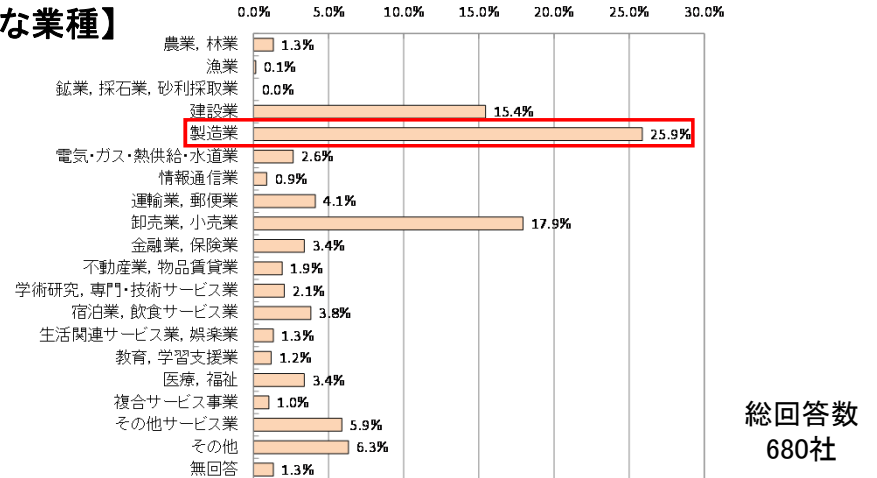
【従業員数】



参考 従業員数(滋賀県)

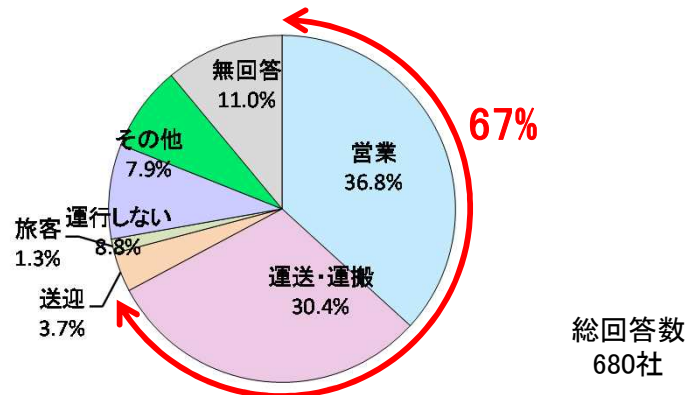


【主な業種】



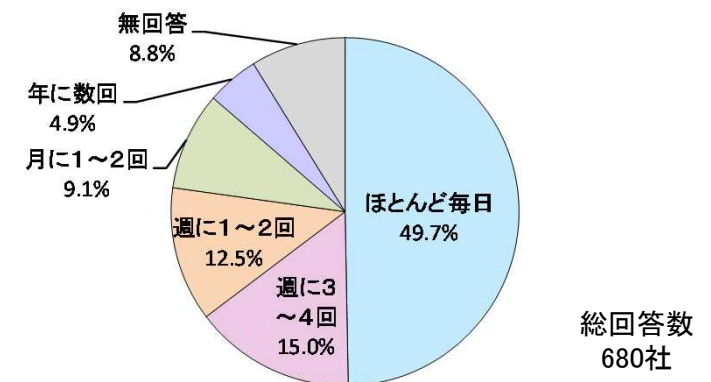
国道8号彦根～東近江の主な利用目的

【問2-1】主な利用目的【単一回答】



国道8号彦根～東近江の利用頻度

【問2-2】利用頻度【単一回答】



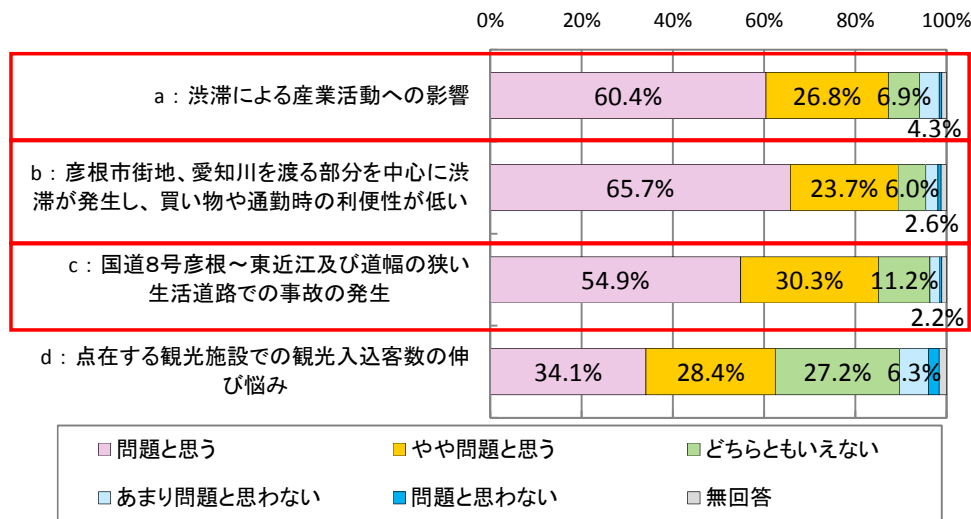
※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

2-2. 意見聴取の結果 事業者への調査票(地域の課題)

○「a. 渋滞による産業活動への影響」、「b. 彦根市街地、愛知川を渡る部分を中心に渋滞が発生し、買い物や通勤時の利便性が低い」、「c. 国道8号彦根～東近江及び道幅の狭い生活道路での事故の発生」については、いずれも約9割の方が問題だと感じている。

地域の課題

【問3】国道8号彦根～東近江周辺地域の課題に関するa～d各項目について、「問題と思う」～「問題と思わない」の5段階で評価し、あてはまる番号1つに○をつけて下さい。【単一回答】



総回答数
680社

【問3】地域の課題を選んだ主な理由や、地域で困っていること、改善してほしいことなどがあれば、ご自由にお書きください。【自由回答】

項目	主な意見
産業に関する意見 【26件】	<ul style="list-style-type: none"> ・8号御幸橋付近の渋滞により、物流を阻害しており、効率低下、コスト高の要因となっている。 ・渋滞により、日中の移動に時間がかかり、仕事能率を下げられている。
渋滞に関する意見 【174件】	<ul style="list-style-type: none"> ・朝、夕の通勤時間帯の渋滞解消のため新たな道路が必要。 ・名神高速道路彦根インターから市街地へ行く道路の渋滞がひどく、至急整備必要。
事故に関する意見 【43件】	<ul style="list-style-type: none"> ・業務で道路を使用するが、国道8号及びその接続道路の渋滞がひどく、そのため危険運転(信号無視など)も多い。 ・朝、夕の時間帯に通行する時、渋滞の為に裏道の狭い道路を利用するが、事故に合う危険性がある。
観光に関する意見 【15件】	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞していると8号線を利用しなくなるし観光も時間通りに行く事が出来ないから中止にする事がある。 ・彦根市街地の渋滞により、観光客からのイメージ悪化が懸念される。

※総延べ回答数:407件

※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

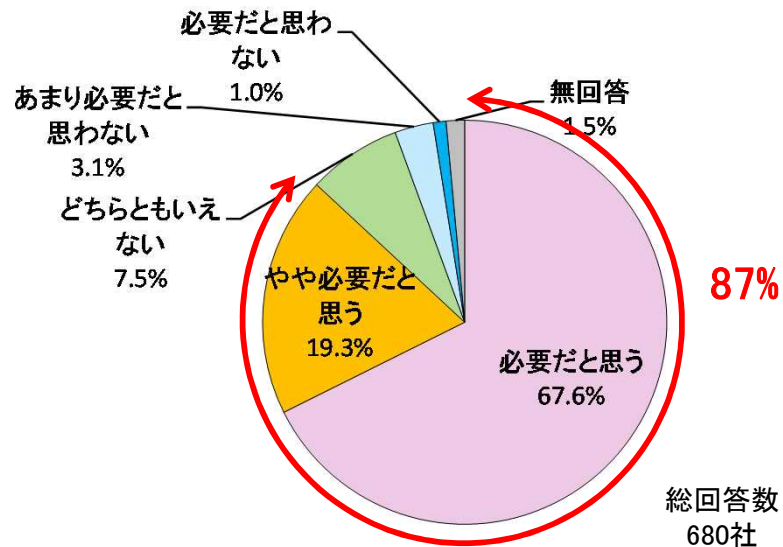
2-2. 意見聴取の結果 事業者への調査票(道路整備の必要性)

○道路整備が「必要だと思う(必要+やや必要)」割合は約9割を占める。

○道路整備の必要性において、「必要」と回答した人は「b. 彦根市街地、愛知川を渡る部分を中心に渋滞が発生し、買い物や通勤時の利便性が低い」について、特に問題を感じている。

道路整備の必要性

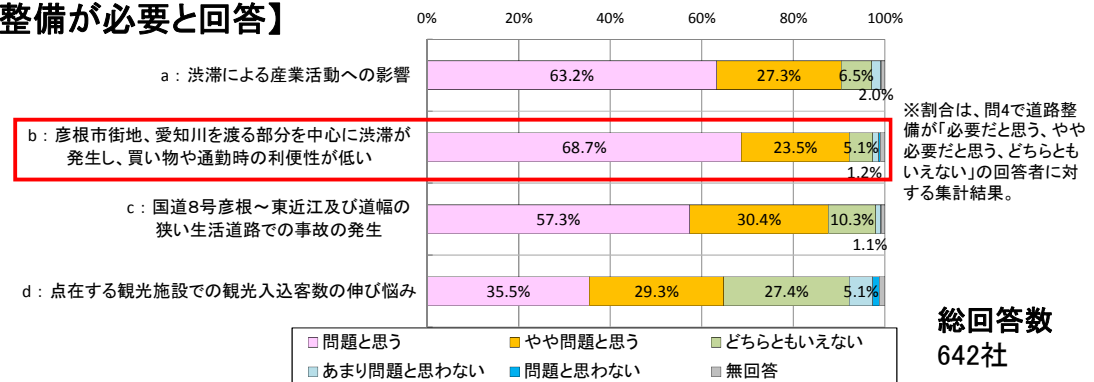
【問4】地域の課題を解決するために、新たな道路整備が必要と
思いますか？【単一回答】



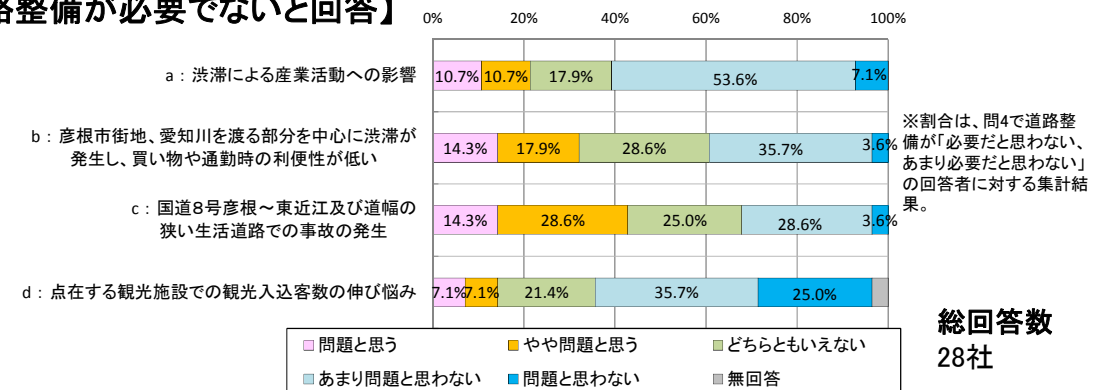
地域の課題

【問3】国道8号彦根～東近江周辺地域の課題に関するa～d各項目について、「問題
と思う」～「問題と思わない」の5段階で評価し、あてはまる番号1つに○をつけ
て下さい。【単一回答】

【道路整備が必要と回答】



【道路整備が必要でないと回答】



※四捨五入の関係で構成比の合計が100%にならない場合がある。

2-2. 意見聴取の結果 事業者への調査票(自由意見)

○「渋滞」に関する意見・要望が多く、次いで「事故」、「産業」、「観光」に関する意見・要望があった。

○その他意見では、「道路整備」や「整備時期」に関する意見・要望が多い。

自由意見

【問5】その他、国道8号彦根～東近江について、ご意見やご要望がありましたら、ご自由にお書きください。【自由回答】

分類	主な意見	
産業に関する意見 【11件】	<ul style="list-style-type: none"> ・国道8号の整備が不十分であることが、滋賀県の発展を阻害していると感じる。 ・国道8号と接続する東西方向の道路が細い為、大型車の出入が困難。産業活動に影響する。 	
渋滞に関する意見 【93件】	<ul style="list-style-type: none"> ・国道の渋滞により横断するのも、すごく時間を費やす。 ・国道8号は、幹線道路と生活道路の両面を持っているため、日中でも混雑している。また、高速ICからも距離があり、バイパスが必要。 	
事故に関する意見 【13件】	<ul style="list-style-type: none"> ・高宮交差点付近は、道幅がせまく、歩行者がいると危険に感じる。 ・国道8号の慢性的な渋滞を避けるため、並行して走る狭い道を抜け道として進入する車が多く、重大事故の発生が懸念される。 	
観光に関する意見 【4件】	<ul style="list-style-type: none"> ・抜本的な渋滞解消策を講じる必要がある。特に観光トップシーズンの彦根ICから市内道路のアクセスは非常に悪く、客足が遠のくことが懸念される。 ・県外からの来客は大体が混んでいたと言い、次回以降来るのを渋るようになる。 	
道路整備に関する意見	新規整備 【82件】	<ul style="list-style-type: none"> ・国道8号～湖東三山SIC、八日市ICのルートが複雑なので、バイパス等直通で行けるルートがあれば便利。 ・地域活性化の為にバイパス道路は必要だと思う。
	既存道路整備 【79件】	<ul style="list-style-type: none"> ・8号線(彦根方面)の阿^あ自^と岐^と神社^と口^とで右折する車が多い。信号の矢印をつくるか、右折レーンがあった方がよい。 ・片側2車線にして信号機バランスをよくし8号横断や右・左折が渋滞しないようにしてほしい。
整備時期に関する意見【9件】	<ul style="list-style-type: none"> ・道路計画検討にあたっては至急の課題として取り組みをお願いしたい。 ・長浜、米原バイパスより彦根～愛知川の整備を先に進めてほしい。 	
その他【3件】	<ul style="list-style-type: none"> ・この程度の渋滞は問題だと思わない。国民の貴重な税金をムダな道路工事に使わないで欲しい。 	

※総延べ回答数:340件

2-3. 意見聴取の結果 関係団体ヒアリング(業種別の傾向)

- 「渋滞」や「事故」に関する意見は、すべての業種で挙げられ、課題として認識されている。
- 「産業」や「観光」に関する意見は、自治体及び関連する業種で意見が挙げられている。
- 「道路整備に関する要望」は、すべての業種で挙げられている。

■関係団体ヒアリングにおける課題や道路整備の要望への言及の状況

意見分類		業種	観光協会・ 経済団体	トラック協会	バス協会	警察機関	消防機関
		自治体 (7自治体)	(14団体)	(1団体)	(1団体)	(3団体)	(2団体)
課題	産業に関する意見	●	●	●	—	—	—
	渋滞に関する意見	●	●	●	●	●	●
	事故に関する意見	●	●	●	●	●	●
	観光に関する意見	●	●	—	●	—	—
道路整備に関する要望		●	●	●	●	●	●

凡例
 ●:言及あり
 —:言及なし

2-3. 意見聴取の結果 関係団体ヒアリング(業種別の傾向)

○主な意見として、「産業」、「渋滞」、「事故」、「観光」に関するものが多い。

○地域の課題や期待について、業界に限らず、類似した意見を持っており、早期着工・早期開通を望んでいる声が多い。

分類		事業者ヒアリングにおける主な自由意見
課題に対する意見分類	産業に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・物流効率を高めるため車両の大型化が進んでいるが、当該地域は大型車が通行できる道路が非常に少ない。【観光協会、経済団体】 ・車の流れが非常に悪いため、ドライバーの拘束時間が長く、コストがかかっている。【経済団体】 ・企業誘致にも力を入れているが、通勤アクセスが不便なことがネックとなる。【経済団体】 ・主要都市へのアクセス性の良さから工場が集まりやすいが、彦根市内の一般道路は慢性的な渋滞が発生しており、物流への影響が大きい。【経済団体】
	渋滞に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・国道8号が渋滞しているため、通勤は遠回りとなっても湖岸道路を利用している。【観光協会、経済団体】 ・国道8号は、平日だけでなく、休日も渋滞するため極力、利用しない。【自治体】 ・国道8号の路線バス(湖北バス)は到着の遅れが発生している。【自治体】 ・交通事故や積雪時には、地域全体の渋滞はさらに顕著となる。(積雪時に東近江から彦根までの移動に5時間要した)【観光協会、経済団体】
	事故に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・御幸橋付近では、沿道施設への出入時や渋滞発生時に追突事故が発生している。【警察機関】 ・国道8号の渋滞を避けるため、中山道等の生活道路へ交通が流入し、事故発生危険がある。【観光協会、経済団体】 ・湖東三山SICを利用している大型車両が東西方向の狭小幅員の道路を走行しており、危険な状態である。【警察機関】 ・国道8号の事故危険区間や中山道等の生活道路において追突事故が発生し、救急車がよく出動している。【消防機関】
	観光に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・中山道でイベントを行いたい、8号の通過交通が流入する状況では許可が下りない。【観光協会、経済団体】 ・貸切バスの周遊観光の場合、渋滞が解消されれば、観光地間の所要時間の短縮やサービス向上につながる。【バス協会】 ・他市町の観光施設との広域的な連携が必須であるが、彦根市街地が渋滞していることから、旅行会社が観光ルート設定を行う際の障害となっている。【観光協会、経済団体】 ・国道8号が渋滞しているため、五箇荘地区<small>ごかしょう</small>との連携が進まない。【観光協会、経済団体】
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・課題はこれまでも訴えてきている。とにかく早く整備してほしい。【観光協会、経済団体】

2-4. 第1回意見聴取の結果のとりまとめ

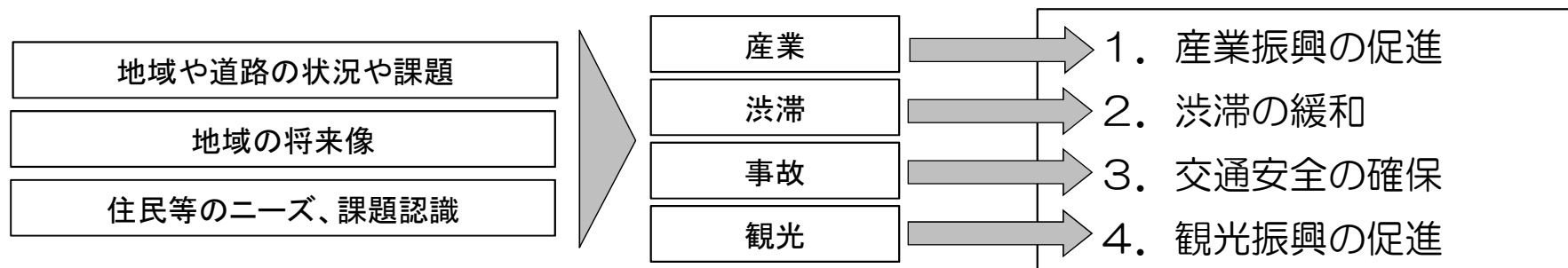
項目		主な内容	道路整備に 求められるもの
現状の道路について	産業に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・本地域は、大規模事業所が数多くある。高速へのアクセス性を向上させ、産業活動の発展に力を入れてほしい。【地域住民・事業所】 ・車の流れが非常に悪いため、ドライバーの拘束時間が長く、コストがかかっている。【経済団体】 	産業振興の促進
	渋滞に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・彦根市内や愛知川付近の国道8号の渋滞により、駅や病院への移動、買い物に不便を感じている。【地域住民・事業所】 ・国道8号は、平日だけでなく、休日も渋滞するため極力利用しない。【自治体】 	渋滞の緩和
	事故に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・国道8号は道幅が狭く、低速車両に対する無理な追い越しや、沿道出入り車両が多いことから事故の危険がある。【地域住民・事業所】 ・国道8号の渋滞を避けるため、中山道等の生活道路へ交通が流入し、事故発生危険がある。【観光協会、経済団体】 	交通安全の確保
	観光に関する意見	<ul style="list-style-type: none"> ・渋滞により、観光客が時間通りに移動できないことから、客足が遠のくことが懸念される。【地域住民・事業所】 ・彦根市街地が渋滞していることが、旅行会社が観光ルート設定を行う際の障害となっている。【観光協会、経済団体】 	観光振興の促進
国道8号彦根～東近江の整備計画について		<ul style="list-style-type: none"> ・地域住民・道路利用者・事業者ともに、現状の課題を踏まえ、道路整備が必要だと思う割合が多く、地域の課題については、「彦根市街地、愛知川を通る部分を中心に渋滞が発生し、買い物や通勤時の利便性が低い」ことに問題だという意見が多い。 ・自由意見では、「渋滞」に関する意見が最も多く、またその他意見として「道路整備」に関する意見が多い。【地域住民・事業所】 	渋滞の緩和

3. 対応方針(ルート帯案)について

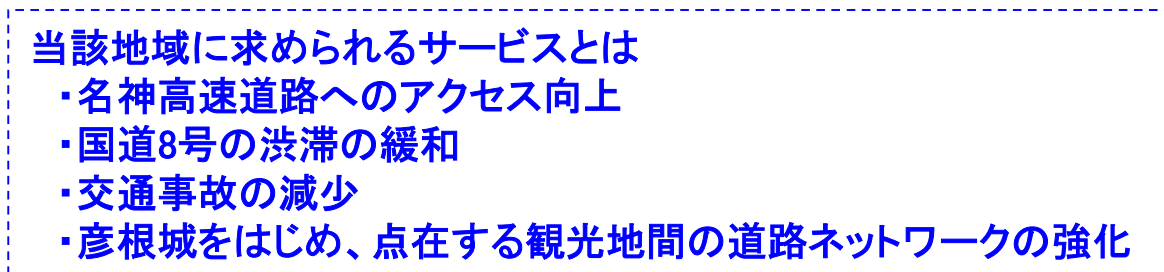
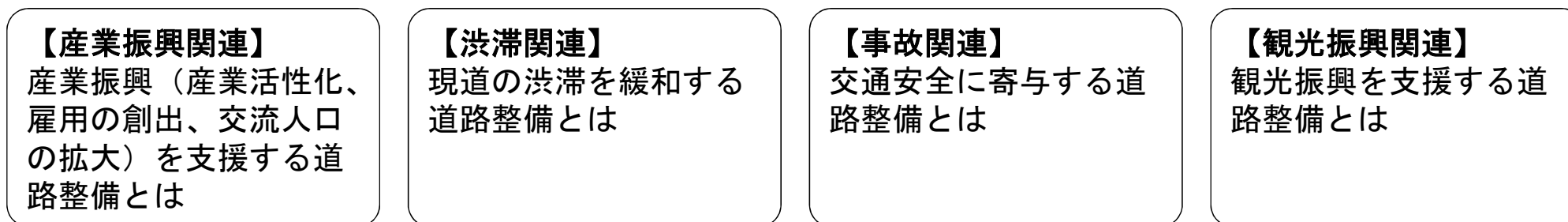
3-1. 対応方針(ルート帯案)の考え方

○第1回意見聴取結果を踏まえ、当該地域の課題を解決するための対応方針を検討。

◇当該地域の課題を早期に解決する政策目標の案を設定



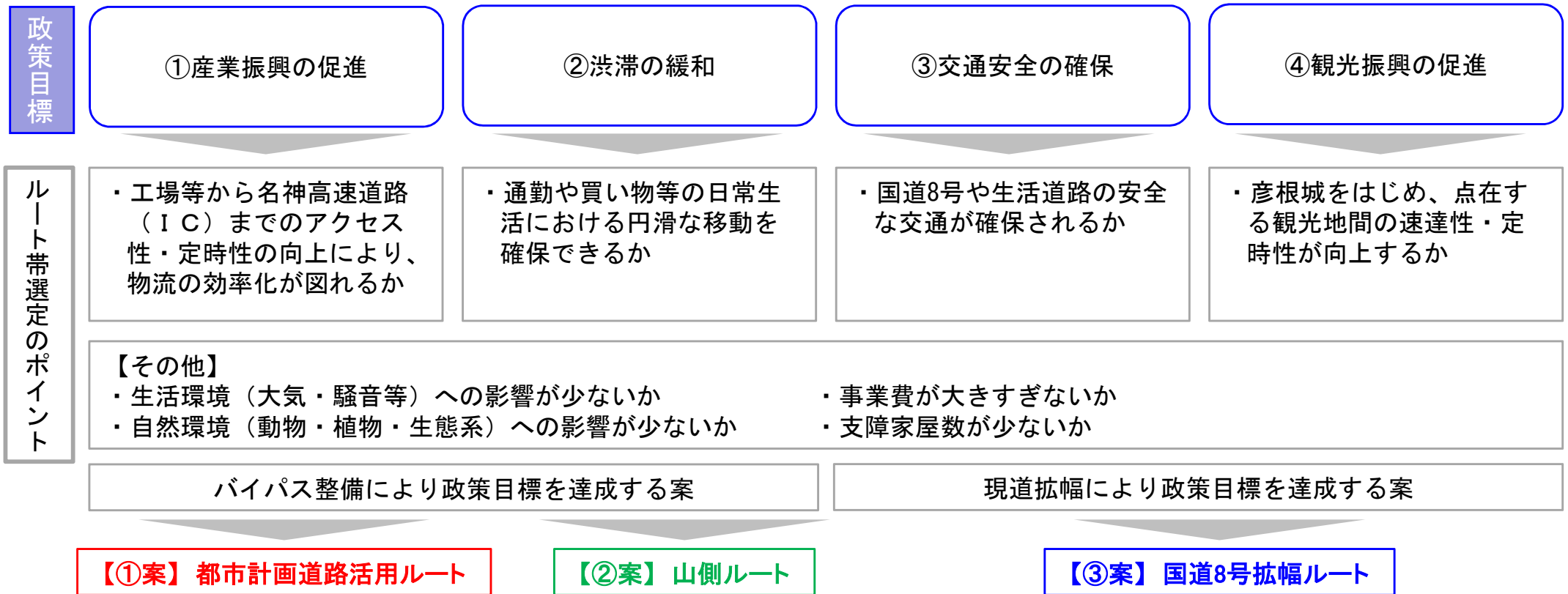
◇対策案の検討



当該地域の課題を解決し、地域の将来像を実現するルート帯案を設定

3-1. 対応方針(ルート帯案)の考え方

- ◆第1回意見聴取で地域の課題や道路整備の必要性について確認できたことから、考慮すべき箇所や配慮すべき事項を踏まえて、ルート帯案を設定する。
- ◆設定したルート帯案が各政策目標にどのように資するのか等を整理し、第2回意見聴取で地域がより重視する政策目標を設定することで、地域のニーズを十分に踏まえたものであるかを確認する。



◇比較案

- 【①案】 都市計画道路活用ルート ……既存の都市計画道路幅（彦根長浜幹線）を最大限活用したバイパスにより交通容量を拡大する案
- 【②案】 山側ルート ……支障移転による既成市街地への影響を最小限に抑えるため、彦根市街地の山側に導入したバイパスにより交通容量を拡大する案
- 【③案】 国道8号拡幅ルート ……現道（対面2車線）を4車線に拡幅（一部、立体交差）し、交通容量を拡大する案

3-2. ルート帯案の検討[①案 都市計画道路活用ルート]

- 既存の都市計画道路幅(彦根長浜幹線)を最大限活用したバイパスにより交通容量を拡大する案。
- 考慮すべき箇所として、大規模工場や都市計画道路などの社会的状況、自然的状況などに配慮する。

◇考慮すべき箇所の配置図



※1: 国定公園、県立自然公園、※2: 鳥獣保護区、ラムサール条約登録湿地、保護水面、保安林、緑地環境保全地域、ヨシ群落保全地域、生息・生育地保護区、※3: 重要な動物種、重要な植物種(巨樹・巨木林・天然記念物)、重要な植物群落

3-2. ルート帯案の検討[②案 山側ルート]

○支障移転による既成市街地への影響を最小限に抑えるため、彦根市街地の山側に導入したバイパスにより交通容量を拡大する案。

○考慮すべき箇所として、大規模工場などの社会的状況、自然的状況などに配慮する。

◇考慮すべき箇所の配置図



※1: 国定公園、県立自然公園、※2: 鳥獣保護区、ラムサール条約登録湿地、保護水面、保安林、緑地環境保全地域、ヨシ群落保全地域、生息・生育地保護区、※3: 重要な動物種、重要な植物種(巨樹・巨木林・天然記念物)、重要な植物群落

3-2. ルート帯案の検討[③案 国道8号拡幅ルート]

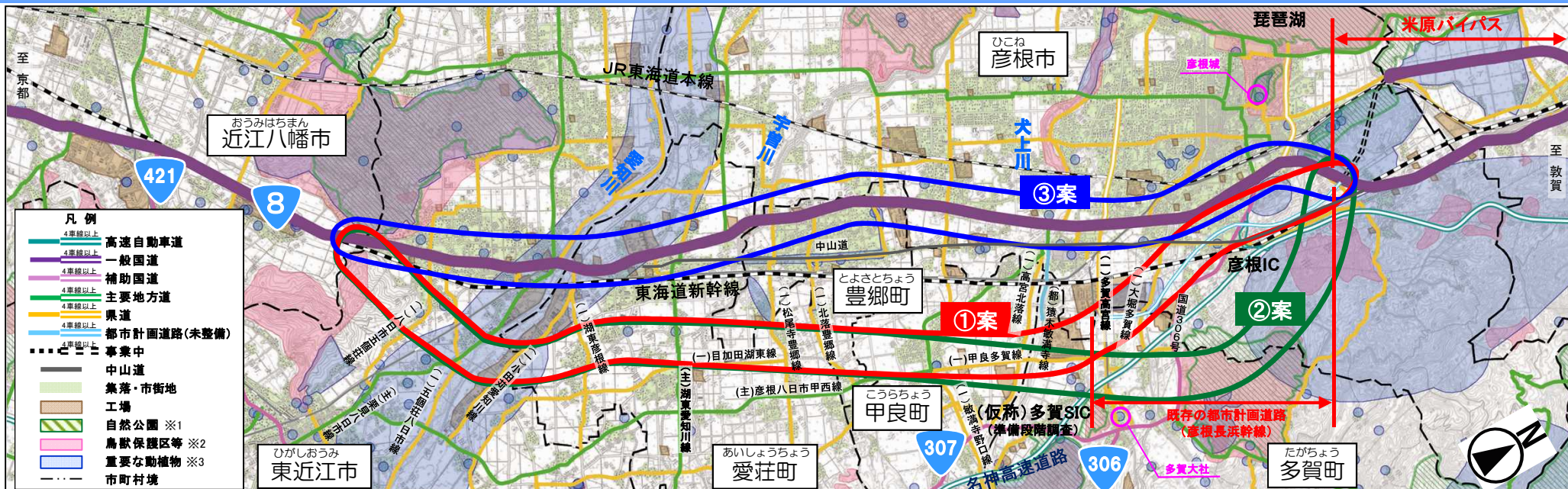
- 現道(対面2車線)を4車線に拡幅(一部、立体交差)し、交通容量を拡大する案。
- 考慮すべき箇所として、大規模工場などの社会的状況などに配慮する。

◇考慮すべき箇所の配置図



※1: 国定公園、県立自然公園、※2: 鳥獣保護区、ラムサール条約登録湿地、保護水面、保安林、緑地環境保全地域、ヨシ群落保全地域、生息・生育地保護区、※3: 重要な動物種、重要な植物種(巨樹・巨木林・天然記念物)、重要な植物群落

3-3. ルート帯案の概要



※1: 国定公園、県立自然公園、※2: 鳥獣保護区、ラムサール条約登録湿地、保護水面、保安林、緑地環境保全地域、ヨシ群落保全地域、生息・生育地保護区、※3: 重要な動物種、重要な植物種(巨樹・巨木林・天然記念物)、重要な植物群落

評価軸	①案 都市計画道路活用ルート	②案 山側ルート	③案 国道8号拡幅ルート
案の概要	既存の都市計画道路幅(彦根長浜幹線)を最大限活用したバイパスにより交通容量を拡大する案	支障移転による既存市街地への影響を最小限に抑えるため、彦根市街地の山側に導入したバイパスにより交通容量を拡大する案	現道(現況対面2車線)の交通渋滞の緩和を考慮し、4車線に拡幅(一部、立体交差)し、交通容量を拡大する案
産業振興の促進	・国道8号の東側にバイパス整備を行い、彦根ICへの更なるアクセスルートを確保し、既存の国道8号の交通負荷を低減することによって、彦根ICへのアクセス性や定時性が向上する。 ・バイパスからのランプ交差点が彦根ICランプ交差点直近に新設されるため、新たな渋滞の懸念がある。	・国道8号の東側にバイパス整備を行い、通過交通を排除し、既存の国道8号の交通負荷を低減することによって、彦根ICへのアクセス性や定時性が向上する。 ・現在調査中の(仮称)多賀SICへのアクセス性及び定時性に最も優れる。	・国道8号の渋滞緩和により、彦根ICへの定時性が向上するが、信号交差点数は現状とほぼ変わらないため、効果は小さい。
渋滞の緩和	・バイパスに現道交通が転換することにより、国道8号の交通量が低減され、主要渋滞交差点の渋滞緩和が期待できる。	・バイパスに現道交通が転換することにより、国道8号の交通量が低減され、主要渋滞交差点の渋滞緩和が期待できる。	・長距離移動と短距離移動の交通が混在するが、交通容量が増加するため、主要渋滞交差点の渋滞状況が現在に比べると緩和されることが期待できる。
交通安全の確保	・国道8号の交通量が低減され、交通事故の低減が期待できる。 ・周辺の生活道路(中山道等)への抜け道として利用する交通の進入が減少し、生活道路の交通安全性の向上が期待できる。	・国道8号の交通量が低減され、交通事故の低減が期待できる。 ・バイパスの交差点の数が少なく、安全性に優れる。 ・周辺の生活道路(中山道等)への抜け道として利用する交通の進入が減少し、生活道路の交通安全性の向上が期待できる。	・長距離移動と短距離移動の交通が混在するため、事故の懸念が残る。 ・周辺の生活道路(中山道等)への抜け道として利用する交通の進入が減少し、生活道路の交通安全性の向上が期待できる。
観光振興の促進	・バイパスを整備することにより、地域の交通状況が改善され、観光地間の連携強化が期待できる。	・バイパスを整備することにより、地域の交通状況が改善され、観光地間の連携強化が期待できる。	・現道の拡幅整備により、地域の交通状況は改善されるものの、信号交差点数は現状とほぼ変わらないため、観光地間の連携に対する効果は小さい。
生活環境(大気・騒音等)への影響	・一部集落・市街地を通過するため、大気・騒音等の生活環境への影響が懸念される。	・集落・市街地を概ね回避するため、大気・騒音等の生活環境への懸念が少ない。	・集落・市街地を通過するため、大気・騒音等の生活環境への影響が懸念される。
自然環境(動物・植物・生態系)への影響	・自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への懸念が少ない。	・自然環境の考慮すべき箇所は、概ね回避するため、自然環境への懸念が少ない。	・現道を導入空間とするため、自然環境への懸念が少ない。
市街地からのアクセス	・既存市街地(彦根市街地)からのアクセス性に優れる。	・既存市街地(彦根市街地)の外縁部を通るため、アクセス性に劣る。	・既存市街地(彦根市街地)からのアクセス性は現状と変わらない。
移転等が必要な家屋数	約250棟	約50棟	約450棟
コスト	約1,500億円	約1,400億円	約1,200億円

参考文献: 重要な動物種の既存資料: 第2回自然環境保全基礎調査 動物分布調査 滋賀県(昭和54-56年、環境庁)他/鳥獣保護区の既存資料: 平成28年度狩猟者必携滋賀県鳥獣保護区等位置図(平成28年11月、滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課)/ラムサール条約登録湿地: ラムサール条約と条約湿地(平成29年6月、環境省)/保護水面: 保護水面・禁止区域(平成27年10月、滋賀県農政水産部水産課)/重要な植物群落の既存資料: 第2回自然環境保全基礎調査(昭和55年、環境庁)他/巨樹・巨木林の既存資料: 第4回自然環境基礎調査Web-GIS(平成29年6月、環境省)、第6回自然環境基礎調査Web-GIS(平成29年6月、環境省)/天然記念物の既存資料: 彦根市文化財情報(平成29年1月、彦根市)、指定文化財(平成29年6月、多賀町)、文化財一覧(平成29年6月、甲良町)、指定等文化財(平成28年4月、近江八幡市)、文化財一覧(平成25年、東近江市)/滋賀県内の自然公園(平成21年、滋賀県琵琶湖環境部自然環境保全課)

4. 地域の意見聴取(第2回)の方法について

4-1. 意見聴取の内容

○2回目の意見聴取の内容は、地域・交通の課題を解消するために示したルート帯案は効果的かを確認するための質問の他、ルート帯案が地域のニーズを十分に踏まえたものであるかを確認するため、地域がより重視する政策目標に関する質問を設定。

1.意見聴取(2回目)の内容

意見聴取の項目	把握する意見	回答方法
①属性	住所(お住まいの市町)、性別、年齢	選択式
②国道8号の利用状況について	主な利用目的	選択式
	主な移動手段	選択式
	利用頻度	選択式
③ルート帯案について	地域・交通の課題を解消するために、今回示したルート帯案は効果的か	選択式
	効果的だと思わない理由は	記述式
④ルート帯案を選択する際に 重視すべき政策目標	ルート帯を選択する際に重視すべき項目は	選択式
⑤検討にあたって配慮すべき事項等	具体的にルートを検討する際に配慮すべき事項	記述式
⑥その他	自由意見	記述式

4-2. 意見聴取の対象と方法

2. 意見聴取の対象（案）

・アンケートによる意見聴取の対象

対象	調査対象者	調査手法	対象
地域住民	彦根市、東近江市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町	郵送配布・回収	約15,600世帯 ※無作為抽出
道路利用者	滋賀県等	Webアンケート (滋賀国道・自治体HP)	—
	沿道地域	留置きアンケート (市町役場、道の駅等に配置)	—
事業者	沿道事業所 (彦根市、東近江市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町)	郵送配布・回収	約1,700事業所 ※無作為抽出

・ヒアリング調査による意見聴取の対象

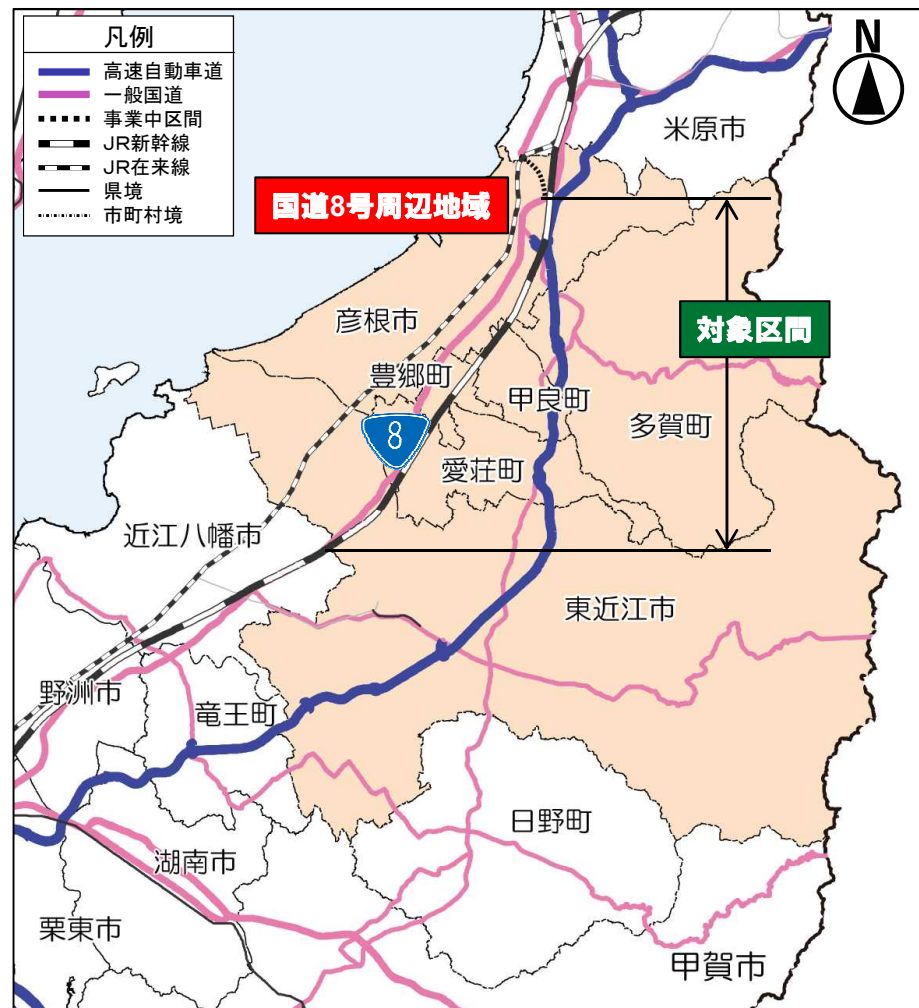
項目				
関係団体 (計28団体)	○自治体	【7自治体】	○経済団体	【8団体】
	○観光協会	【6団体】	○トラック協会	【1団体】
	○バス協会	【1団体】	○警察機関	【3団体】
	○消防機関	【2団体】		

3. 地域への意向調査の周知方法

情報提供の項目

市町が発行する広報誌で意見聴取の実施に関する広報を行う
滋賀国道・市町ホームページに意向調査のバナーを設置し、幅広く広報を実施

・意向調査（沿道住民、沿道事業者）の配布範囲



4. 意見聴取期間

・1ヶ月程度

5. 実施主体

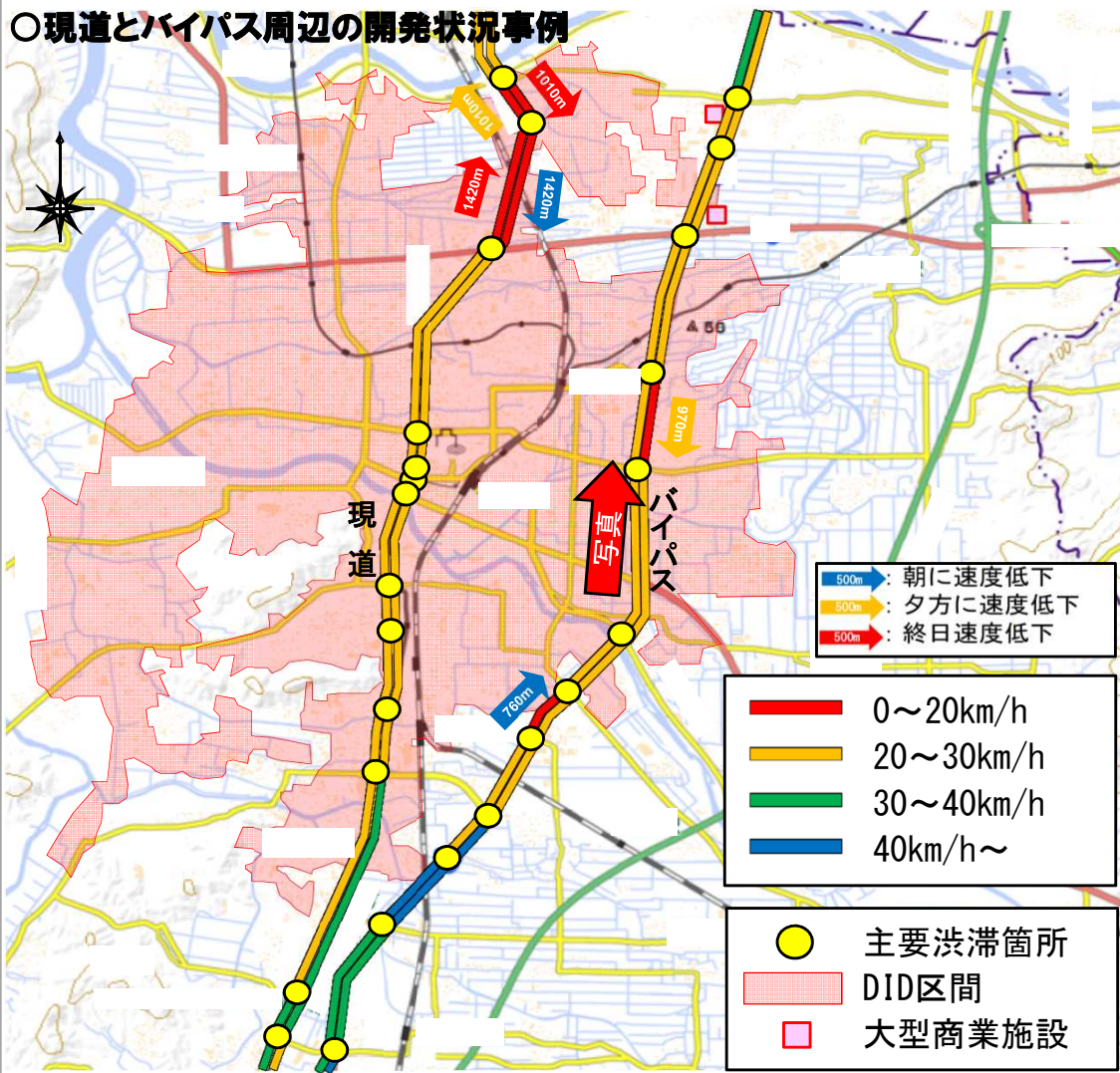
・国土交通省 近畿地方整備局
滋賀国道事務所

5. 道路として必要な機能等について

5-1. 周辺の土地利用計画と道路に求められる機能と役割

- 中心市街地部の交通混雑緩和等を目的に昭和60年代に4車線のバイパスを整備(市中心部)。
- バイパス整備後30年以上が経ち、沿道は開発が進み、大型商業施設等が多数立地し、現道・バイパスともに主要渋滞箇所が多数あり、各所で渋滞が発生。
- ⇒それぞれの道路に求められる役割・機能や事業周辺の土地利用計画について検討が必要。

○現道とバイパス周辺の開発状況事例



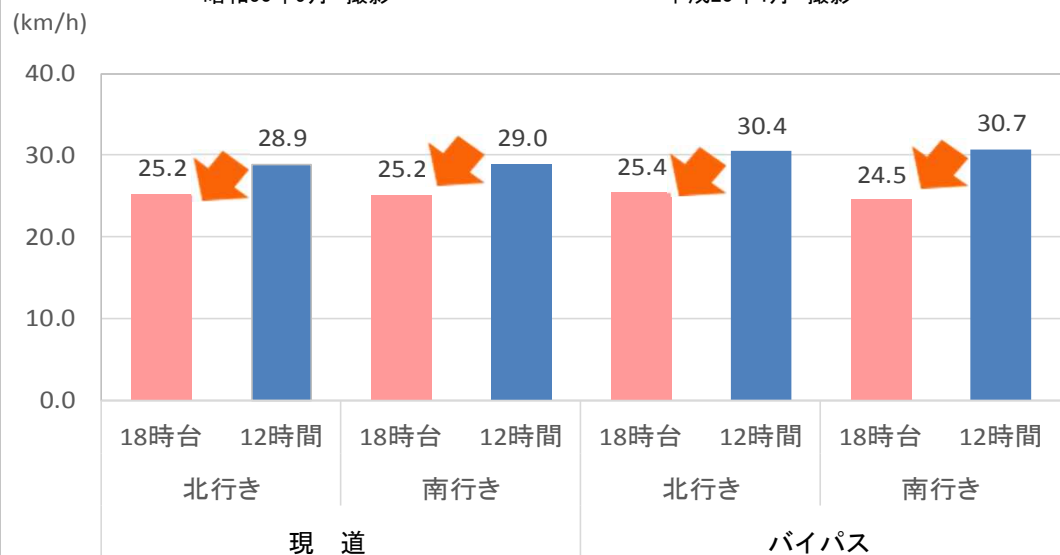
○まちの変遷状況事例



昭和50年9月 撮影



平成20年4月 撮影

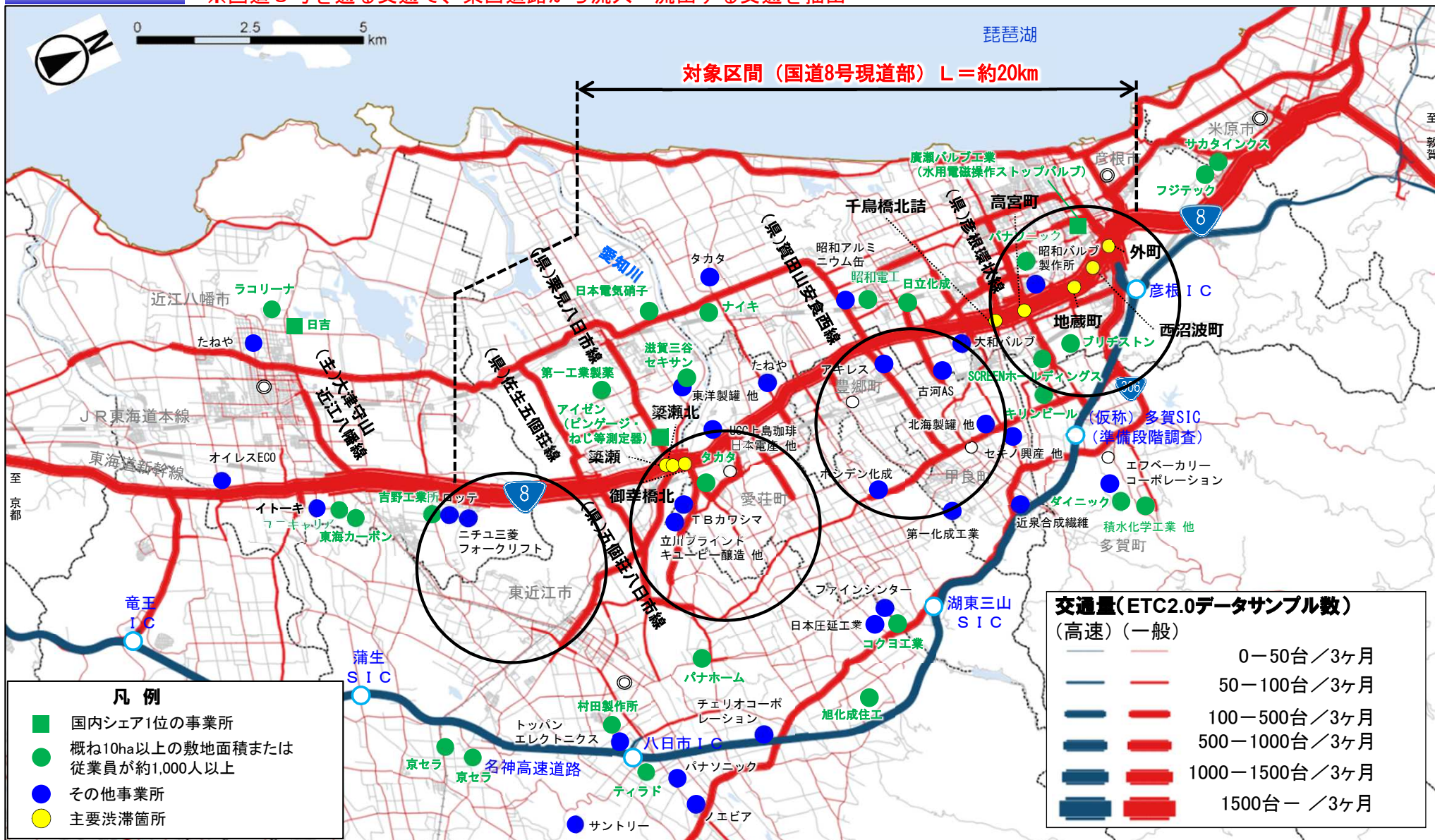


出典) 民間プローブデータ H28. 9-11平日 ※12時間は6~17時の平均

5-2. 東西道路の機能強化

○大規模な事業所が立地している箇所周辺の東西方向の交通量が多い傾向が見られる。
 ⇒東西の道路について、役割や機能強化すべき路線の検討が必要。

利用交通の状況 ※国道8号を通る交通で、東西道路から流入・流出する交通を抽出

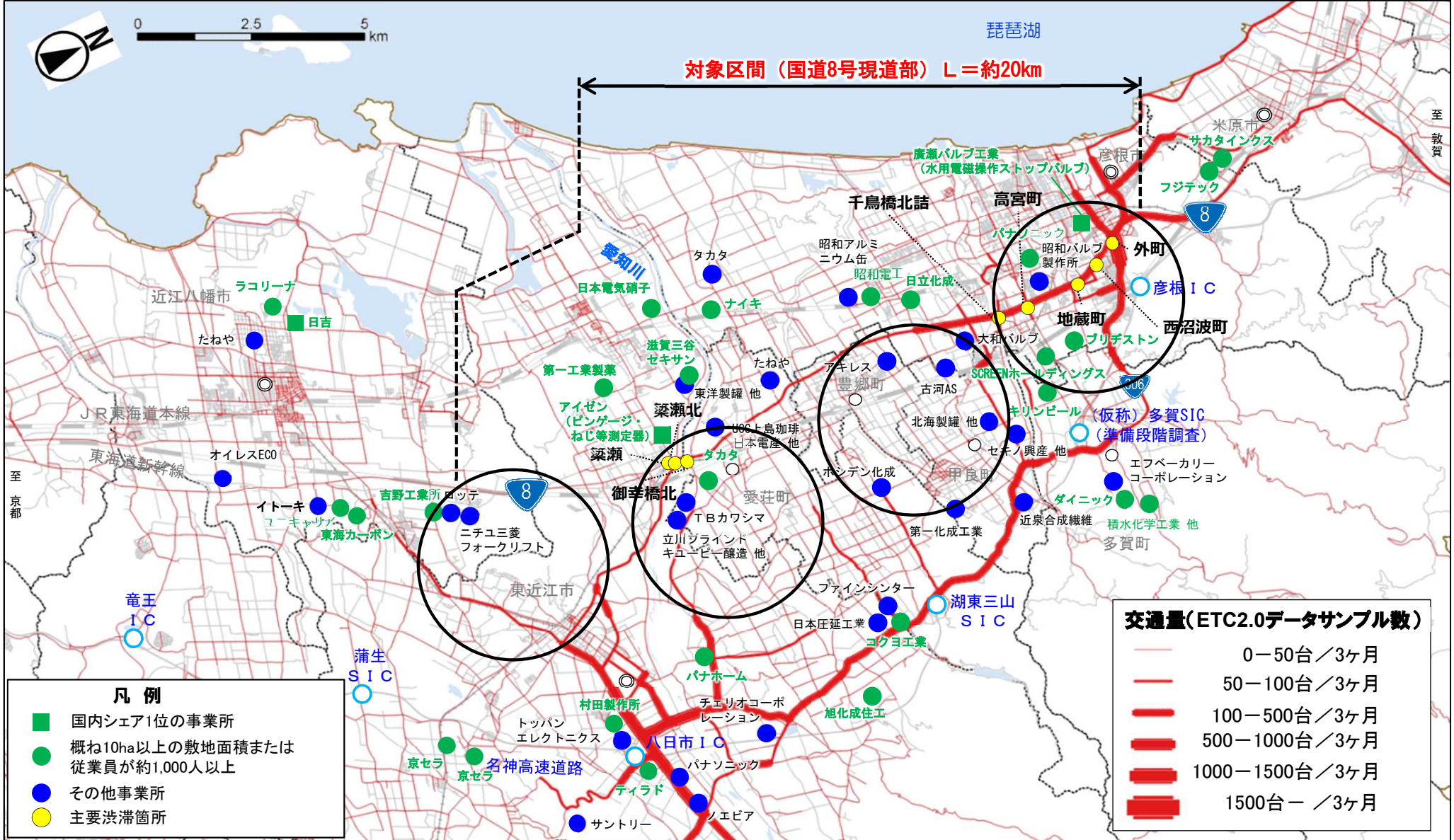


資料：滋賀県産業用地のしおり こんなところに滋賀の技術、ETC2.0プロブ情報 (H29.5~7月：3ヶ月間)

5-2. 東西道路の機能強化

○大規模な事業所が立地している箇所周辺の東西方向の交通量が多い傾向が見られる。
 ⇒東西の道路について、役割や機能強化すべき路線の検討が必要。

利用交通の状況 ※彦根IC・八日市IC・湖東三山SICを利用する交通を抽出



資料：滋賀県産業用地のしおり こんなところに滋賀の技術、ETC2.0プロブ情報 (H29.5~7月：3ヶ月間)

5-3. 道路として必要な機能等について

■ 国道8号 彦根～東近江に必要な機能

1. 新たな道路と現国道8号に求められる役割

2. 事業周辺のあるべき土地利用計画

3. 東西のアクセス道路の機能強化

今後、沿線自治体へも情報共有を行い検討を推進

6. 今後の計画段階評価のすすめ方(案)

6. 今後の計画段階評価のすすめ方(案)

■今後の計画段階評価手続きの進め方、スケジュール(案)

地域住民や道路利用者の意見を聞きながら、道路計画【概略計画案(複数案)】について検討を行う。

【平成28年12月】

【平成29年 3月～】

今回

【平成30年 7月】

第1回 近畿地方小委員会

- 地域の現状と課題
 - ・産業の維持・推進
 - ・日常的(買物・通勤交通等)な渋滞
 - ・事故が多発、生活道路の危険性
 - ・観光入込客数の伸び悩み
- 政策目標案の設定
- 第1回意見聴取方法
- 計画段階評価の進め方

地域の意見聴取 (第1回)

- ①地域の課題
- ②道路交通の課題
- 第1回意見聴取
《アンケート調査等》
- 対象者：
地域住民
事業所
道路利用者
地元代表者等

第2回 近畿地方小委員会

- 第1回意見聴取結果の確認
- 政策目標の設定
- 複数案比較及び計画範囲
⇒概ね1,000m帯ルート
- 第2回意見聴取方法

地域の意見聴取 (第2回)

- ①評価項目
- ②複数案の比較評価
- 第2回意見聴取
《アンケート調査等》
- 対象者：
地域住民
事業所
道路利用者
地元代表者等

第3回 近畿地方小委員会

- 第2回意見聴取結果の確認
- 対策方針案の検討
(地域の意見を考慮)

対応方針の決定
(道路が通る概ねのルート)

地方小委員会